

功 勞 者 表 彰



山添 義昭 氏
(社会福祉功労)

平成16年12月より津久見市民生委員・児童委員に就任し、社会奉仕の精神を持って保健指導にあたり、津久見市の福祉の増進のため積極的な活動を行っていただいています。また、平成28年からは、その実績と人望により津久見市民生委員・児童委員協議会会長に就任し、各種事業に積極的に参加するなど、20年以上にわたり本市の福祉行政の推進に尽力されており、本市の社会福祉の振興に多大な貢献をされました。



織田 敦任 氏
(地域づくり功労)

平成24年から徳浦区長として6期12年間の永きにわたり地域の課題解決に尽力され、その間、毎年の防災訓練では防災グッズを持って避難させるという取り組みを徹底させているほか、南海トラフ地震・津波対策として自主防災組織を中心に、高台への避難小屋等の設置や企業との独自協定の締結などを積極的に進めるなど、地区住民の防災意識醸成に多大な貢献をされました。こうした取り組みは、県内外からも非常に注目され視察を受けるなど、同氏の熱心な活動は津久見市全体の防災意識の普及啓発の模範となるだけでなく、防災を核とした自助・共助の地域づくりに多大な貢献をされました。



高野 郁 氏
(文化功労)

堅浦古典芸能保存会神楽部で長年にわたり神楽の指導に携わり、平成27年からは楽長として、子供たちへの指導と新たな指導者の育成にあたり、文化活動やスポーツ活動とは一味違う伝統文化の継承を通して、礼儀作法や協調性を教えながら、子供たちの健全育成を「堅浦神楽」という地域に残る伝統芸能の習得、保存継承のための活動を通して実践されており、本市の文化活動の振興に多大な貢献をされました。

津久見市 文化の日功労者表彰式並びに感謝状贈呈式



永きにわたるご功績に感謝いたします

11月3日、「令和6年度津久見市文化の日功労者表彰式並びに感謝状贈呈式」が行われました。式典では石川市長が、「各分野におかれまして、永年にわたり、それぞれの分野で日夜献身的にご活躍され、他の模範となる優れた功績を残されており、そのご功績をたたえ、深く敬意と感謝の意を表します」と式辞。今年度は社会福祉功労や地域づくり功労などで、4人と2団体に表彰状や感謝状、記念品が贈呈されました。



感 謝 状



明治安田生命保険相互会社
(一般寄附)

より豊かな地域社会づくりを応援するため従業員一人ひとりが「地元」に想いを届ける取組み「私の地元応援募金」の活動を通じ、令和2年度より津久見市に対して、新型コロナ対策や健康推進、子育て、介護・認知症対策等のためとして、多額のご寄附をいただきました。



小野 安敏 氏
(一般寄附)

長年にわたり市職員、収入役、助役として、市政発展に多大な功績を残したことが認められ、本年、国より地方自治功労等に係る瑞宝双光章を受章されたことを契機に、長年お世話になった津久見市及び津久見市役所への感謝の気持ちから、新庁舎建設に活用して欲しいとして、多額のご寄附をいただきました。



株式会社カケル
(一般寄附)

平成19年に創業され、令和6年に代表取締役の出身地である津久見市に本社機能を移転したことを契機に、津久見市の子供たちのために活用して欲しいとして、多額のご寄附をいただきました。